

第三回 IT 活用研究会(大阪) 議事録

日時:	2011/03/24(木) 14:00~17:00
会場:	大阪丸紅ビル 13F E 共用会議室
テーマ:	iPad はモバイル PC の置き換えとなるのか？
講師:	ソフトバンクモバイル株式会社 スマートフォン推進部 部長 兼 シニアエバンジェリスト 中山 五輪男 氏
司会・進行:	IT 活用研究会座長 ニッタ株式会社 コーポレートセンター 経営企画グループ 船堂 晃 氏

※当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

- 経営から目的や効果に関係なく iPad を導入することを決められるケースが多く、導入してから様々な問題に直面している。
- 販売現場や持ち運びの難しいものをシミュレーション化しての営業提案に多く活用されている事例は分かりやすい。しかしその他ビジネス活動の様々な活用シーンの中で基本的な管理手法などの確立がやっと始まった状態のようである。
- 資料が増えてきたときの検索についてもファイルメカを利用するなどのいくつかの方法が紹介されたが、ソリューションとして確立していない。
- PC を持ち出せない代わりに iPad を海外出張に使わせたいが紛失盗難が心配という参加者の意見に対して、データ削除などが紹介された。
- 端末のセキュリティとして、パスワードロックの管理、IPsecVPN を利用した社内システムへの接続、サイバー trusts の認証など、端末の管理手法としては、MDM (Mobile Device Management: モバイルデバイスマネジメント) 製品が紹介された。構成プロファイルをコントロールすることで、カメラや APP スタアの利用制限が可能である。これらサービスには自社開発の APP (Application software: アプリケーションソフトウェア) を、App Store を介さずに配布することが可能であるものもある。MDM によるデバイスコントロールは、MDM ベンダーだけでなくエンドユーザ企業もデベロッパエンタープライズ契約が必要なところがネックで進まないようである。
- Apple ID は、会社で所有して利用者に渡さないか、利用者が所有するかという問題については、App Store からの APP の購入に関わることなので各社ごとに様々であった。様々な APP の中でどこまで利用させてよいかもポリシーで決めていく必要がある。

【まとめ】

まだまだ、企業が iPhone、iPad などのスマートフォンを利用していく上では解決しなければならない課題が多いことがわかった。さらに PC と同じレベルの管理が必要なのかという意見もあった。そもそも情報統制を社内ネットワーク内で確立した環境でスマートフォンを使うべきではないかとの意見もあった。

